

求む!

お取扱い店

調剤 & 物販

弊社の製品(健食、オーラルケア、医療雑貨、ドリンクなど)を十種類ほどお取扱いいただくことにより、調剤以外の収益作りや、患者さんとのコミュニケーション作りを一層図ることができ、ご好評をいただいております。
※陳列も含めてご提案致します。

お気軽にご連絡を
◆詳細を知りたい
◆製品一覧が見たい
◆担当者から話を聞きたい

★ホームページで実際の店頭陳列をご覧頂けます。

天野商事

天野エンザイムのグループ
天野商事株式会社
TEL:052-951-2340 FAX:052-951-7954
URL:http://www.amano-shouji.co.jp/



「今年は、進路決定者の就職先に占める調剤薬局の割合が低下した」と話す、東京薬科大学の齋藤由紀夫氏。

の足立利枝氏は話す。

危機感抱いた病院が「青田買い」

病院の求人時期が例年より早まっている理由について、東海大学医学部付属八王子病院の薬剤科で科長を務める渡邊昌之氏は、「病院側の危機感の表れではないか」と分析する。

薬学教育が4年制から6年制に移行したことに伴い、2010年からの2年間は新卒の薬剤師が出なくなる。この“空白の2年”に備え、薬局チェーンやドラッグストアは数年前から採用人数を大幅に増やしてきた。「そこに学生を持っていかれた。実は、昨年の定期新卒採用では応募者が例年よりも非常に少なかった。うちの大学だけかと思って調べたところ、周辺の大学病院でも同じ現象が起こっていた」と渡邊氏は打ち明ける。

結果として、昨年は病院志望者の多くが、希望の病院に就職できたようだ。「前年の卒業生から、病院が就職しやすくなったという情報が口コミで広まり、今年は病院志望者が増えている」と話すのは、医療系学生向けの就職情報サイト「CanPass・Net」(<http://www.canpass.net/>)の運営や合同就職説明会の開催などを手掛け



「大学病院であっても、新卒採用のためには積極的な情報発信が必要」と強調する東海大学医学部付属八王子病院の渡邊昌之氏。

ているグッピーズのマーケティンググループ事業マネージャー、梅澤洋一氏。同社では毎年、CanPass・Netの登録者を対象に志望先のアンケートを行っているが、「今年4月のアンケートでは、病院志望者が全体の26.9%と、調剤薬局志望者の28.2%とほぼ並んでいた。この時期の調査では、例年は調剤薬局志望者が4~5割を占め、病院志望者は2割程度であることを考えると、今年はかなり病院人気が高いといえると思う」と梅澤氏は話す。

病院の採用戦略に起こった変化は、採用時期の前倒しだけではない。東海大学八王子病院では、薬科大学に Outreach の就職説明会を今年からスタートさせた。大学病院が就職説明会を開催するのは極めて異例だ。「これまで、大学病院には大勢の就職希望者が集まるのが普通だったから、そこにあぐらをかいてきた。そのツケが、去年の応募者数急落に表れたのだと思う。そこで今年は、これまでの姿勢を反省し、積極的に情報発信を行って優秀な新卒薬剤師を採用していくよう戦略を転換した」と渡邊氏は説明する。

東海大学八王子病院は2月に星薬科大学、5月には東京薬科大学で、学部生と院生を対象にした就職説明会を実

施。「星薬科大学での説明会は春休み中だったので、希望者には病院を見学してもらった。やはり、見学会を行った方が学生からの反応は良く、『業務の内容を知ることができて病院薬剤師のイメージが変わった』『病院という職場はきつくて厳しいという印象を持っていたが、とてもやりがいのあるものだ』とわかった』などの意見が聞かれた」と同病院薬剤科係長の添田真司氏は手応えを語る。

セミナーや職場体験で巻き返しを図る

今年の採用戦線では後れを取った格好の薬局だが、ただ手をこまねいているわけではなく、さまざまな新しい試みを通して学生へのアピールを図っている。冒頭で紹介した国家試験対策セミナー付き説明会はその一例だ。

「薬局が会社説明会と一緒に国家試験対策セミナーを行う例は、まだあまりないと思う」と話すのは、薬剤師国家試験予備校メディセレ(大阪市淀川区)の専任講師、園部和史氏。「弊社からの講師派遣は昨年初めて。今年は、サンブラザ加地のほか、関東の調剤併設型ドラッグストアからもセミナーの依頼を受けた」と付け加える。

また、薬局業務を体験できる「体験型説明会」を行う薬局も増えつつある。調剤薬局のイエロー・グリーン薬局を、中部や北関東を中心に43店舗経営するミック(静岡県藤枝市)もその一つ。「土曜の午後は半休となる店舗で、午前中に店舗を見学してもらい、午後は模擬処方せんを使って処方鑑査から調剤、服薬指導と一通りの体験をしてもらう。現場の負担は小さくないが、『薬局薬剤師の仕事の面白さ』

神戸薬科大学の岡野登志夫氏は、「6年制で始まる病院・薬局での長期実務実習が、学生の進路を大きく左右する」と予測する。



を伝えるには、実地の体験をしてもらうことが一番」と同社開発部主任の鈴木英輔氏は話す。

6年制卒では薬局志望者が激減?

こうした体験型説明会について、神戸薬科大学衛生化学研究室教授で就職部長の岡野登志夫氏は、「就職先を決める前にインターンシップ(就業体験)を行うことは、就職後のミスマッチを防ぐ上で非常に大切」と評価する。そして、就業体験という意味では「今後は6年制教育の5年次に実施される長期実務実習が、学生の進路選択に大きな影響を及ぼす可能性がある」と指摘する。これまでイメージ先行で就職先を選んでいった学生が、就業体験を通じて、よりリアルな視点で進路を選ぶようになるというのだ。

そうなったとき、薬局は学生にどの程度魅力的な就職先として映るのか。「2カ月半の薬局実習が採用に大きく影響すると予想してはいるが、正直、現時点でどこまで準備をすればいいのかが読めない」と、ミックの執行役員で開発部長の浅井健太郎氏は言う。薬局や病院における実習の充実度が、今後の就職動向を大きく左右することになりそうだ。(内山 郁子)



衛生的な空間づくりにダスキンの「抗菌コート」。

樹脂ワックス抗菌コートの特長
細菌の繁殖を抑える効果のある抗菌成分を配合したワックス。医療現場におすすめです。

エアコン抗菌コートの特長
熱交換器に結露が生じると、抗菌成分が溶け出し、カビ・細菌の繁殖を抑制します。効果は約1年間持続。(状況により異なります)

そのほかエントランスや待合室、トイレなどの日常清掃も承ります。

医療・介護施設・薬局の清掃サービス

お見積りは無料! お気軽にご相談ください。

0120-100100

詳しくは

ServiceMASTER.